

平成25年度事業報告

急激に進む少子高齢化社会の中で、地域のニーズに応え、また、地域を支え活力ある地域社会を維持するためには、シルバー人材センターは必要不可欠であり、果たす役割は大変重要であります。

最近の経済情勢は、各方面に景気の回復の兆しが見え始め、特に大企業においては、ベア3,000円、ボーナス6.8ヶ月支給等について大々的に報じられております。しかし、地方においてはそうした状況は殆ど感じられない状況であります。

当シルバー人材センターは設立後13年、広域センターとなって5年が経過し、大変厳しい経済情勢の中で、受注件数、契約額とも概ね順調に推移しております。これは5町村の自治体をはじめ、一般家庭や企業の協力、また、会員の努力と関係する皆様の大変なご理解とご協力によるものであります。25年度の契約金額は1億2千6百万円、受注件数1,759件となっており、昨年度と比較して件数では67件減少しておりますが、これは企業の件数が落ち込んでいるものであります。逆に契約額では約395万円増額となっております。その原因としては新たに数件の企業の大口金額の受注ができたもので、今後もこうした事業が受注できるよう更に努力を重ねなければならない。会員数においては4月1日現在360名で昨年同月比1名の減員でほぼ横ばい状態が続いております。当面の目標であった350名は維持しておりますが、65歳定年制も影響し会員の確保は大変難しい状況となっております。特に農作業が集中する時期は発注者から女性会員の要望が多くありますが、対応に困窮しているのが実情であり、女性会員の確保が最重要課題であります。

一方、安全就業については、事業計画の第1目標に「事故ゼロ」を掲げ取り組んでおりますが、25年度は残念ながら2件の小さな事故が発生してしまいました。引き続き事故撲滅のため始業前の安全確認と会員の安全に対する意識の徹底を推進して行かなければなりません。

センター等は、今後も「健康で働く意欲のある高齢者」に対し、就業機会の確保と就業を提供し、活力ある地域づくりに貢献し、更に役職員、会員は「自主・自立、共働・共助」の基本理念の基「信用」と「魅力」と「地域に愛される」また、地域住民の多様化するニーズに応えられるよう一層努力しなければならない。

以下、25年度の主な事業について報告いたします。

主な事業報告

1. 総会

平成25年度定時総会を5月29日阿南町民会館において開催しました。

総会員数354名（出席者数65名、委任状214名、）

- 議事
- ・24年度事業報告について
 - ・24年度収支決算報告について 監査報告
 - ・定款の一部改正について
 - ・25年度事業計画について（報告）
 - ・25年度収支予算について（報告）
 - ・24年度補正予算について（報告）

以上について提案し、原案どおりすべて可決承認されました。

2. 理事会

- 第1回： 5月 8日 新規加入会員の承認、24年度事業及び決算報告、補正予算、定時総会他について
- 第2回： 7月 9日 安全・適正就業強化月間の取り組み、安全パトロール、新規加入会員の承認他について
- 第3回： 8月30日 新規加入会員の承認、普及啓発促進月間の取り組み、会員及び就業拡大他について
- 第4回： 10月23日 新規加入会員の承認、中期5ヵ年計画策定、未収金対策他について
- 第5回： 12月 6日 新規加入会員の承認、安全・適正就業研修会、安全標語審査、就労単価他について
- 第6回： 1月23日 新規加入会員の承認、新入会員説明会、消費税法改正、広報誌シルバーだより他について
- 第7回： 3月11日 新規加入会員の承認、SP事業、補正予算、26年度事業計画及び予算他について

3. 監査会

24年度決算監査が監事2名により、25年5月8日行われ適正な処理と認めました。正副理事長、事務局が監査を受けました。

4. 各部会

- 総務部会
- ・組織の活性化と会員相互の連絡強化について検討
 - ・規則、要綱等の見直し検討
 - ・5町村長へ補助金継続補助と支援強化の要請
 - ・就業単価の見直し、検討

- 事業部会
 - ・就業開拓の検討
 - ・地域班、職群班の強化対策
 - ・未就業会員対策、
 - ・庭木等剪定講習会の検討

- 普及啓発部会
 - ・普及啓発促進月間
(ボランティア活動・シルバーフェアーの開催)
 - ・広報誌「シルバーだより」年2回の発行
 - ・シルバーのPR活動
 - ・会員募集チラシ作成配布
 - ・部会の開催

- 安全部会
 - ・機械整備講習会の開催
 - ・安全パトロールの実施
 - ・安全標語の募集
 - ・安全作業の徹底(作業前のミーティング等)
 - ・部会の開催

5. ボランティア活動実績

地区名	実施年月日	実 施 内 容	参加人数
売 木	25. 12. 10	県道側溝ざらい	8
新 野	25. 11. 22	国道151号沿線ゴミ拾い	17
大下條	25. 12. 15	町道側溝掃除、道路脇草刈り処理	25
富 草	25. 10. 17	阿南温泉周辺草刈り	5
下 條	25. 12. 2	コスモスの湯窓拭き及び風呂掃除	17
泰 阜	25. 7. 25	旧泰阜北小中学校及び公共施設周辺草刈り	9
合 計			81

6. 普及啓発事業シルバーフェアー実績 25年10月19日開催

阿南町民体育館駐車場：(阿南町老人福祉祭・阿南大商工業祭同時開催)

出品者数	出品数	総売上額	配分額	事務費
22	38	82,150	48,915	33,235

7. 独自事業実績

トウモロコシ栽培(新野地区)

従事月日	従 事 内 容	従事者数
4月 2日	耕耘	1

4月15日	堆肥へブルーシート掛け	1
4月30日	堆肥撒き、トラクター作業	8
5月12日	マルチ敷き準備	7
5月13日	マルチ敷き	3
5月15日	種まき、散水	6
5月20日	畦畔草刈り	1
5月21日	畦畔草刈り	1
5月24日	種まき、散水、草刈り	6
6月9日	畝間除草、補植、散水	6
6月14日	間引き	1
6月15日	除草	1
6月22日	間引き、除草	8
6月28日	土手草刈り	3
6月29日	防虫薬散布、畝間除草	3
7月8日	間引き、防虫剤投与、追肥	4
7月11日	散水	1
7月16日	消毒	3
7月18日	追肥	1
7月19日	畝間除草	1
7月22日	消毒	3
7月31日	消毒、圃場草刈り	4
8月1日	畝間除草	1
8月2日	収穫	8
8月3日	収穫	8
8月4日	収穫、畝間除草	9
8月7日	収穫	5
8月8日	収穫、コンテナ購入	7
8月9日	収穫	7
8月10日	シートほか片付け	1
8月20日	草刈り	1
9月12日	草刈り	1
9月13日	草刈り	1
9月23日	耕耘	1
10月23日	耕耘	1
34日間	従事延人数(人日)	124
	総金額 258,690円	

8. シニアワークプログラム事業

高齢者の雇用・就業機会の確保を促進するため、長野県シルバー人材センター連合会及び飯田公共職業安定所と連携して、55歳以上の働く意欲のある者を対象に講習会を実施しました。

講習名：果樹栽培アシスタント講習

受講終了者：5名

9. 中期5ヵ年計画策定委員会

シルバー事業の転換期とも言われる、大変難しい状況の中での運営には、中期計画を策定し事業目標を立て事業展開することが重要であるとの認識により、25年10月23日の理事会において、策定委員を選任委嘱し、第1回委員会を11月20日に実施しました。その後3回の委員会で集中審議を重ね、素案を策定して各地区で説明会を行い意見を聴取致しました。

26年3月11日理事会へ最終案を提示して承認いただきました。

全会員に配布しますので有効に活用ください。

10. 広報編集委員会

25年度は第19号、第20号を発行いたしました。

第19号（25年9月20日付）

主な掲載内容：定時総会、会員募集、地区活動状況報告、安全・適正就業関係、
写真で見る活動日誌、会員の異動他

第20号（26年3月20日付）

主な掲載内容：安全標語応募と審査結果、安全・適正就業推進の重点目標、
会員からの寄稿、写真で見る活動日誌、親睦会情報、
会員の異動他

11. 機械整備講習会開催

25年4月13日（土）午後1時30分から

草刈機、チェーンソーの点検、整備講習を実施しました。

初心者からベテランまで25名の会員が参加して、講師の説明を真剣に聞き、その後実技を行い大変意義ある講習となりました。